

Monthly Repo. ならやま



◆10月20日(土) 晴れ 27名+70名

佐保台小学校児童と会員家族対象の「芋掘りと自然工作」のイベント。蔓の長さ、芋の重量比べなども実施し、昼はさつま汁を賞味し、午後には竹ぼっくり作り、焼き芋などの賞味など盛り沢山の内容で、賑やかで楽しい一日となった。

◆10月25日(木) 晴れ 56名+17名

作業開始前にベースキャンプ周辺地区の一斉清掃。1時間弱の作業であったが、20袋余りの不法投棄ゴミが集まった。

午前中稲刈りを行ったが、田の一部が水吐けが悪く、足をとられ、泥だらけとなった。午後、佐保台小学校5年生の稲刈り。あっという間に終え、稲掛けまで終えた。



里山・景観グループは第5地区の整備に奮闘した。

◆11月1日(木) 曇り一時晴れ 49名+4名

新たに設定した皆伐林区において、低木からの伐採を開始した。

農園では、来年に向けてエンドウなどの豆類の播種を行った。

花関係では、先週からコスモスの整理、キンセンカ、ムラサキハナナの畑の準備を実施。

先週収穫したソバの脱穀を行ったが、雨風による倒伏があったせい、収量は昨年と比べ少なかった。

森林総合研究所からカシノナガキクイムシに詳しい専門家に来てもらい、被害発生確認をしてもらった結果、数本の樹がその被害であることが判明した。

◆11月2日(金) 曇り 8名+11名

古都連絡協議会主管課長会議のメンバーによる現地視察があり、第5地区、ベースキャンプをみてもらい、ならやまの開発当初から関わってきた阿部顧問が、開発整備経過についてパネルで説明を行った。

◆11月4日(日) 晴れ 11名

作業が遅れているため、急遽稲の脱穀作業を行った。関係者の皆様、ご苦労様でした。

◆11月8日(木) 晴れ 56名+29名

奈良県が実施している「景観サポーター」養成事業での実習を受け入れ、受講生8名、スタッフ6名が来られた。午前中は皆伐地区でのコナラなどの伐採整理作業の実習、午後はならやま景観整備事業の概要説明とならやまの見学を行った。

ならやま地域全体の安全性チェック、希少植物の保存、動植物の記録などを目的とするならやまパトロール隊が発足し、巡回コースの下見を行った。

◆11月15日(木) 曇り一時小雨 48名+3名

カシノナガキクイムシの被害樹、枯れたマツの伐採処理。コナラの被害樹を割ったところ、多数の坑道と幼虫が確認され、放置すれば次年度には大量の成虫の発生が予想された。

除草作業が一段落したので、懸案となっていた彩りの森斜面での竹の間伐を開始した。

(文責：木村 裕)

